

京都帝國大學  
和昭

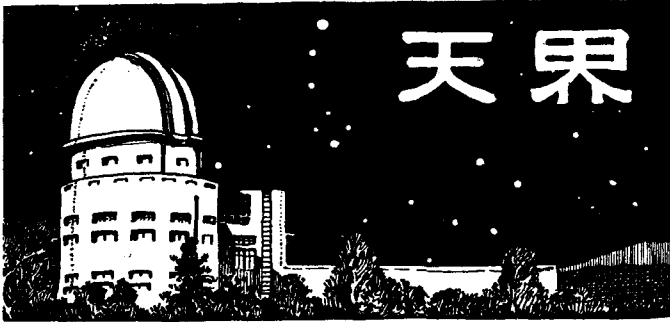
6.12.31

No. 28. (Vol. XI)

THE HEAVENS December 1931

編輯 理學博士 山本一清 理學士 竹田新一郎

第百二十八號 (第十一卷)



昭和六年十二月號

目次

噫、閑月翁逝く……………岡 山水野 千里… 511

天文電報の話 (2) (電報解釋法)……………理學博士 上田 穰… 512

ゼームス、クラーフ、マクスエル…………… 522

マーシャル島民に知られた星座及び星の傳説……………佐藤 興三… 525

雜報…………… 534

本年十二月の天象…………… 541

天文同好會觀測部月報…………… 545

通信及び報告…………… 548

CONTENTS: *Ch. Mi uno*, Death of Senior Kangetu (511); *Joe. Ueki*, Story of Astronomical Telegrams (2) (512); James Clark Maxevell (522); *K. Sato*, Traditions of Marshall about Constellations and Stars (525); Miscellaneous Notes (534); The Heavens of December, 1931 (541); Monthly Reports of the Observing Section, S. A. F. (545); Communication and Reports (548)

大正九年十二月二十四日第三種郵便物認可(每月一回二十五日發行)  
昭和六年七月二十四日印刷納本 昭和六年十一月二十五日發行

天 文 同 好 會

---

會 告

---

昭和七年度の會費を御拂込み下さい

昭和六年度は會員諸君の御後援により世間並な赤字も出さずに本月末を以て〆切られます，そして新しき年の發展に資すべき會費を御拂込下さる様用紙を同封致しました。

金額は年 參 圓 です

觀測部の方は部費として年額壹圓貳拾錢（部費は改正になりました精しくは次號に）を御加算願ひます。

尙、本年末現在で、會費、部費、急報費用、に過不足のある方に對しては其計算書を、本誌發送と同時に御送り致しますから、それによつて御差引の上御拂込願ひます。

會 計 係

## (P. 天文臺)

**花山天文臺** 京都帝國大學の天文臺で、京都東山々系中の花山(クワサン)頂に1929年創立されたものである。構内に大小五個の建物がある。其の中の主なるものが此の寫眞の「本館」である。高さ五十八尺の大圓蓋の中にはクック製口径30センチの屈折式赤道儀が收められ、尙徑46糎や同25糎の反射鏡もあつて、毎夜天空の諸現象を觀察してゐる。その他、研究室、圖書室、寫眞室、時計室、無線室、工作室等がある。本館のほか、「別館」にはゼトリウス製の口径18糎の屈折機、「子午線室」には口径90糎の子午儀、「太陽館」には徑42糎や30糎のシロスタトや、細隙60糎の分光太陽寫眞儀等があり、晝夜を兼ねて、各種の研究が行はれてゐる。

**グリニチ天文臺** 英國々立天文臺で、航海天文學進歩のため、1675年、ロンドン郊外グリニチ丘上に建てられたものである。徑70糎の眼視赤道儀、徑65糎及び同33糎の寫眞赤道儀、徑75糎の反射鏡、徑20糎の子午環等があり、その他、氣象や地磁氣の觀察を行ひ、又毎日太陽黒點の寫眞觀測を數十年來續行してゐる。長い年月にわたり、基礎的な天文學のあらゆる方面の研究を進めた効績により、現代の學術上貴重至極なる資料を學界に提供したことは多い。今昔を通じて實に英國の、否、世界の天文界をリードしてゐる。又、世界の經度は此の天文臺を基點としてゐる。

**キルソン山天文臺** 米國カーネギー研究所が1904年に主として太陽研究のため設立したものであるが、間もなく一般恒星界の研究にも進入し、今や最もモダンな天文學を開拓しつつある。器械は、スノー記念水平望遠鏡と六十尺高塔及び百五十尺高塔兩望遠鏡で、毎日太陽の研究觀測をし、又、徑250糎及び同180糎の兩つの大反射鏡で、毎夜恒星界の寫眞研究をしてゐる。實に世界第一の大規模な設備である。キルソン山は米國南カリフォルニア州バサデナ市の北方に連る山々の一つであつて、海拔六千尺。此の寫眞は航空寫眞による同天文臺の全景である。

**ポツダム天文臺** 獨逸國立の天文臺であつて、第十九世紀末に近く、新勃興の天體物理學專攻の大抱負を以つて、ベルリン郊外ポツダムに建てられたものである。徑75糎の大望遠鏡始め大小多くの器械設備を有し、近年、太陽研究の目的を以つて「アインシュタイン塔」が加へられた。

**ヤキリス天文臺** 米國シカゴ大學附屬の天文臺であつて、同國ミズコンシン州ジェネブ湖畔に1897年に創設され、天體物理學を專攻してゐる。主要な研究設備は口径102糎の大屈折赤道儀であつて、焦點距離實に六十尺、全く世界第一の偉大なる望遠鏡である。之れによつて、晝間は太陽の寫眞觀測、夜は彗星遊星二重星變光星など、多方面の觀測が行はれてゐる。尙ほ此の器械のほか、口径60糎の反射鏡や、口径30糎の屈折赤道儀があつて、種々の天體觀測をやつてゐる。寫眞は此の天文臺の全景であつて、大小三個のドーム(圓蓋)はそれぞれ此等の望遠鏡を收めてゐる、建築も極めて美術的である。

# 天文同好會

大正九年(1920年創立)

會長	山本一清(京都市東一條)〔電話上5098〕
副會長	水野千里(岡山市門田21)
幹事	竹田新一郎(京都市百萬遍京都アパートメント)〔電話上4488〕
	中村要(京都帝國大學花山天文臺)〔電話上6165〕
會計	池田政晴(京都市左京區岡崎黒谷町11)
本部	京都帝國大學理學部天文學教室〔電話上980/222〕
會數天文臺	岡山縣倉敷市 電話35——原名譽臺長〔電話75〕

## 天文同好會規則

- 第一條 此ノ會ヲ天文同好會ト云フ
- 第二條 此ノ會ハ天文學ノ了解ヲ進メ兼ネテ同好者相互ノ親睦ヲ増スノガ目的デア  
ル
- 第三條 本部ヲ京都帝國大學天文部内ニ置ク又會員密集ノ地ニハ支部ヲ置ク
- 第四條 此ノ會ハ其ノ目的ヲ達スル爲メ次ノ事業ヲ行フ
- 一. 講演(例會毎月一回, 總會年一回, 其他臨時會)
  - 二. 講習(各地デ臨時ニ開ク)
  - 三. 雜誌圖書ノ出版(雜誌ハ毎月會員ニ無代配布, 圖書ハ隨時)
  - 四. 見學及ビ實地觀測
  - 五. 天文臺ノ經營(會員ニハ特權ガアル)
- 第五條 此ノ會ノ目的ニ賛スルモノハ誰デモ入會ガ出來ル(申込ノ際ハ住所職業生  
年ヲ記入セラレタイ。)會費ハ每曆年度ニツキ前納金參圓トス. 但シ中途入會ノ場  
合ハ月參拾錢ノ割デ年末マデ前納ノ事
- 第六條 本會ノ經營ヲ支持スル趣意デ每年金貳拾圓以上ヲ齎出スル者ヲ維持會員ト  
スル
- 第七條 一時金壹百圓以上ヲ寄附スル者及ビ總會ニテ特ニ推舉セラレタ者ヲ名譽會  
員トスル
- 第八條 此ノ會ノ役員ハ次ノ通り
- 會長 一名 副會長 一名 幹事 二名 會計 一名
- 會長ト副會長トハ總會デ選舉セラレルモノデ, 任期ハ二ケ年. 幹事ト會計トハ會  
長ノ指名デ任期一ケ年
- 第九條 此ノ會ニ評議員若干名ヲ置キ, 役員ノ相談相手トナル

## 天文同好會觀測部 (Observing Section, S. A. F.)

大正十年九月に組織されたもので, 同好會員中の實際天文研究に興味を  
有する者より成る. 今下記の八課に分れてゐる.

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 流星課 (課長 小槻孝二郎, 幹事 宮澤 堂) | 3. 變光星課 (課長 稻葉通義) |
| 彗星課 (課長 柴田淑次)           | 4. 山本英子           |
| 太陽課 (課長 上島昇, 幹事 山本英子)   | 5. 龜井壽彦           |
| 黃道光課 (課長 荒木健兒, 同 龜井壽彦)  | 6. 山本一清           |
| 豫報課 (課長 山本一清)           | 7. 機械課 (課長 中村 要)  |
| 8. 寫眞課 (課長 中村 要)        |                   |

此の觀測部の觀測報告は京都帝國大學花山天文臺發行の**プレテン**(英文報  
告)に發表られせる.

**天 界** 第二百二十八號 昭和六年十一月二十四日 印刷 定價金 參拾錢  
 昭和六年十一月二十五日 發行 郵税金壹錢

編輯兼發行者 京都帝國大學内(振替貯金口座大阪56765) **天文同好會**(代表者山本一清)

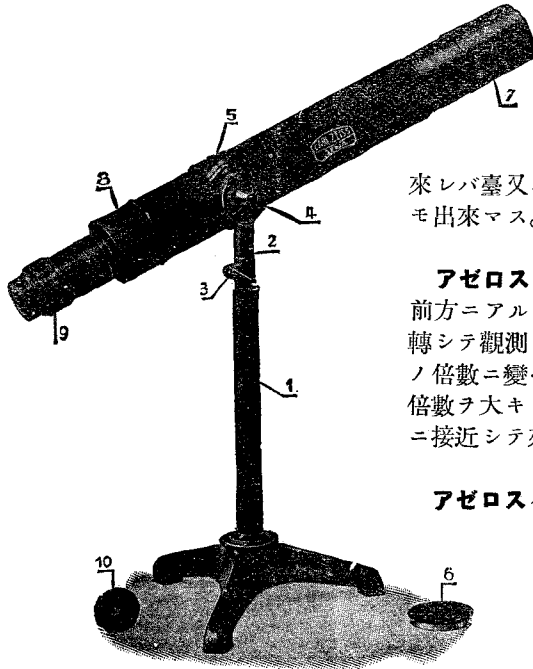
印刷所 京都市中京區柳馬場三條南入 株式會社似玉堂(電本426. 427. 4501)

印刷者 京都市中京區柳馬場三條南入 福井松之助

賣捌所 京都市神田區錦町1の19 新 光 社(振替東京43240  
 (電話神田 2656))

# ZEISS

## ツァイス 小型望遠鏡アゼロス



架臺=取付ケタアゼロス

**アゼロス**ハ小型ナルタメ  
携帶ニ至極便利デ對物鏡徑  
ハ48mmデアリマス。自由  
ニ手デ支エテ視クコトモ出  
來レバ臺又ハ三脚ニ取付ク使用スルコト  
モ出來マス。

**アゼロス**ノ最モ重寶ナコトハ接眼鏡ノ  
前方ニアルギザギザノアル調節論(8)ヲ廻  
轉シテ觀測シナガラ4倍カラ20倍ノ任意  
ノ倍數ニ變ヘテ行ケルコトデアリマス。  
倍數ヲ大キクシテ行クト對象物ガ段々目  
ニ接近シテ來ル有様ガ面白ク見ラレマス。

**アゼロス**ハ又星ヤ月ノ觀測ニモ使用シ  
テ天界ノ不可思議ヲ味フコ  
トガ出來、20倍ニ廓大シテ  
見レバ九等星マデノ星ヲ識  
別スルコトガ出來マス。

詳細説明附型録アリ

ASEROS 1 ト附記御一報次第進呈

カールツァイス 株式會社



東京丸ノ内郵船ビル 3065  
電話丸ノ内(23) 3066

天界

第百二十一卷第百二十八號  
大正九年十二月二十四日第三種郵便物認可(毎月一回二十五日發行)